

からくり貯金箱

特徴

- ・ 単純な貯金箱だが、飾り板（スライド板）を順にスライドさせると開けることができる貯金箱
- ・ 5面に10工程のカラクリが仕組んであるので、開けるには結構苦勞する筈。
- ・ カラクリ仕掛け 5面（どれか1面はダミー）

寸法 外形：90×90×90

材料 アガチス：5t & 3t

塗装 取りあえず塗装なし

重量 200 g

材料費 約 1,150 円（ビス含む）

完成：2014年2月



↑ 汚れ防止のために塗装したかったが、動きがスムーズにできなく恐れがあるので、取りあえずムクのままとした。



↑ 上に乗っているのは、中箱の底板パーツです。糸ノコで正確にくり抜いた後に、周囲をノコギリで正確に45度カットしました。これで、本体の小口は一切見えなくなるまで仕上げます。

参考：45度カットは、トリマーを使うと正確ですが、下手をすると小口を欠いてしまったり焦がしたりと、余計な苦勞することがあります。ソーガイドを使ったノコギリだとこの程度までなら簡単です。



フタを開くには、初めこの面を手前にスライドさせた後、上にスライドさせることから始まります。（①②工程）



フタが開いたところ。ここまで最短で10工程で辿り着けますが、家内テストしたところ、途中で訳が分からなくなるようです。

裏話

- ・ 実用品製作テーマも尽きてきた中で、次の課題を思案しているうち、江戸時代のタンスから大判小判が出てきたとのニュースに、カラクリというヒントに出会いました。
- ・ Webサイトで検索してみると、いろいろなカラクリ工芸に驚かされます。マジックと同じで、動きまでは動画で見せてくれますが、さすがにその構造まで公開しているものはありません（プロなので当然なのかも）
- ・ ならばと、自分の技量で間に合いそうなカラクリ構造を考えてみたのがこの貯金箱です。
- ・ 正確な糸ノコ作業に初挑戦ですが、コツが少し分かりかけてきました。
- ・ 45年ぶりの大雪の中、雪掻きの合間の暇つぶしに、玄関先に腰を据えての作業は寒さも忘れる時間でした。
- ・ 孫たちへの今年の誕生プレゼントは、このサイコロに更に手を加えたものにしようと今から楽しみです。